



学校だより

# はくれい

白山市立白嶺小学校

白山市立白嶺中学校

第17号

令和6年1月18日



## 輪島中から、ともに進もう！

1月17日（水）、被災地輪島市から輪島中学校の1、2年生が白山ろく少年自然の家に避難してきました。中には初めて親元を離れて生活する子もあり、皆、不安な気持ちでいっぱいです。今も時折、震度5レベルの余震があり、倒壊した家屋には雪が積もる被災地では、避難所生活を余儀なくされています。送り出すご家族も、地元を離れる輪島中の生徒たちも不安な中、苦渋の決断をしたことでしょう。県内に住む同年代の仲間が、今、苦境に立たされているのです。

そのような仲間を、白嶺中の生徒は温かく迎えたいと言いました。また、白嶺っ子集会で小学生に話すと、皆、うんうんとうなずき、中学生の決断に賛成し、誇らしい表情をしました。そのことを白山市に伝えたところ、自然の家に避難してくる中学生の内、1年生67名が、昼間は白嶺の校舎で授業を受けることとなりました。そこで、美術室、技術室を教室とし、国語、社会、数学、英語、美術、技術・家庭に学級活動や道徳等の勉強をしてもらいます。理科室や音楽室、体育館、図書館は、共用とします。それから、白嶺自慢の給食も食べてもらいます。期間は未定ですが1月22日（月）～3月上旬の予定です。



まず、輪島中の皆さんには白山市での生活に慣れてもらい、わずかでも傷ついた心を癒してもらいましょう。その後、白嶺のみんなから明るい挨拶をもらい、元気を取り戻してもらいましょう。そのあかつきには交流の場も持てるかもしれません。かつて輪島中で当たり前前にできていた活動も、やってもらえるようになるかもしれません。

私たちは今日まで約2週間、当たり前のように3学期をスタートさせてきました。しかし、それができなかった仲間がいます。その仲間が、今、近くにいます。ともに手を取り合って前に進むことができれば、きっと白嶺のみんなにとっても、輪島中の仲間にとってもかけがえのない時間、経験になるはずです。輪島中からやってくる仲間たちよ、白嶺の仲間とともに、前に進もう！



【受入れ準備を進める生徒たち】



## 保護者の皆様へ

恐れ入りますが、上記の内容がお子様にとって難しい内容でしたら、わかりやすい言葉でお子様に教えていただきたくお願いいたします。

- ① 輪島中から1、2年生が白山ろく少年自然の家に避難してきます。
- ② この内の1年生67名が毎日白嶺に来て、授業を受けます。
- ③ お貸しした白嶺の教室で、輪島中の先生が授業をします。
- ④ 痛みを分かち合い、助け合い、支え合う経験は、生涯の宝となるはずです。



白嶺の子どもたちにとって、かけがえのない経験となるよう、学校でも精一杯指導していきます。もしも、お子さまの心身に不調が見られましたら、どうぞお申し出ください。また、保護者の皆様及び関係機関等、各方面から様々な支援のお申し出をいただいております。心より御礼申し上げます。現在、白嶺中学校は教育委員会と連絡を取りながら、輪島中学校のご要望に沿った形で受け入れ準備を進めております。皆様の温かいお心遣いにつきましては、白山市学校指導課（076-274-9578）までお申し出いただければ幸いです。宜しく申し上げます。